



記者会見する八田同志社大学長（左）と門川市長（14日午前10時20分、京都市中京区・市役所）＝撮影・松村和彦

同志社大と京都市は14日、両者の間で上京区の繊維技術センター跡地の売買契約を締結したと発表した。同大は、跡地と近くの同志社中跡地に新校舎を建設し、2013年度までに今出川キャンパスに一本化される文系学部や国際関係の新学部の拠点とする。

10月1日に下京区の京都市リサーチパークに移転した繊維技術センターの跡地は約7800平方メートル。契約額は22億7800万円で、随意契約で行われた。同大によると、跡地には、文系学部の教室や、13年4月に開設予定の国際関係の新学部、今春設置したグローバル・スタディーズ研究科などが入る新校舎（地下1階、地上3階、延べ16800平方メートル）を建設。12年10月に完成する予定。左京区岩倉に移転した同志社中の跡地にも新校舎を設置する。

今出川キャンパスで学ぶ学生数は、2013年度には約2万1千人となり、現在より約8千人増える見込み。京都市役所（中京区）で会見した同志社大の八田英二学長は「新校舎は周辺の景観にあった建物とし、同志社の『国際主義』の象徴としたい」と話し、門川大作市長は「京都市内からは過去に大学の流出が続いたが、その後は大学支援策を続けてきた。今出川かかわりが学生でさらににぎわうことを期待する」と述べた。（松尾浩道）

## 京都市繊維技術センター跡地

# 同大と市 売買契約

新校舎建設へ

京都新聞 2010.10.14 夕刊より

同志社大学の文系学部が2013年度までに今出川キャンパスに一本化されます。現在より約8千人増える見込みとのことです。